



<参考>様式第4号

令和8年 2月 2日

豊明市議会議長 殿

研修会・講演会等参加報告書

議員名 岡島 ゆみこ

令和7年度 豊明市議会政務活動費にて下記の研修に参加しましたので報告します。

| 日付 | 研修先 | 研修項目及び成果等 |
|-----------|--------------------|------------------|
| 令和8年1月20日 | 豊明市役所 4階 第1委員会室 | ハラスメント講習 別紙添付 |

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

近年の社会的背景を踏まえつつ、職場や議会におけるハラスメントの考え方、判断の枠組み、組織としての対応の在り方について説明がなされた。

講習では、ハラスメントの判断において「受け手の主観」が重要視される一方で、行為が行われた文脈や当事者間の関係性、継続性など、複合的な要素を踏まえて判断する必要があることが示された。また、ハラスメント防止は個人の問題にとどまらず、組織全体の風土や運用の在り方が大きく影響するものである。

制度の目的は「誰かを糾弾すること」ではなく、「不要な対立や誤解を未然に防ぎ、安心して活動できる環境を整えること」にあるという点である。制度が適切に運用されなければ、かえって人間関係の分断を助長する可能性がある。

議会においては、多様な立場や価値観を持つ者同士が議論を重ねる場であるからこそ、互いの言動に対する配慮と同時に、誤解を生まないための距離感や振る舞いについても、日常的に意識していく必要があると感じた。今後は、ハラスメント防止を「萎縮」や「沈黙」につなげるのではなく、建設的な議論と健全な議会運営を支えるための共通認識として、継続的な学びと対話を重ねていくことが重要である。